

茨城豪雨災害対策ワークショップ

(第4回 豪雨災害に関する情報交換会(茨城))

豪雨は様々な災害を引き起こします。茨城県でも、近年、平成27年9月関東・東北豪雨や令和元年東日本台風などの水害を経験しました。地球温暖化によって、将来的に豪雨災害のリスクが高まることが予想されています。豪雨の諸問題と減災に資する対策のために、地域レベルで情報交換を行い、問題の重要性を共有し、協力して対策する必要性が求められています。

これまで、3回にわたって、豪雨災害に関する情報交換会(茨城)という名前でワークショップを開催してまいりました。第3回は、2019年10月9日に茨城豪雨災害対策ワークショップと命名し、グループワークを含めて活発な議論がなされました。その後、災害復興と新型コロナウイルス対応のため、次の開催が遅れてしまいました。この度、これに続く茨城豪雨災害対策ワークショップ(第4回 豪雨災害に関する情報交換会(茨城))を開催することにいたしました。

自治体、研究者、地域で豪雨災害に関わっている一般の方、豪雨災害対策に強い関心のある学生等のご参加とご議論を期待いたします。特に、防災行政に関わる茨城県内の市町村の方からの多くご参加いただければと思います。

日時 2022年1月12日 13時～15時

Zoomオンライン開催

プログラム

1. 趣旨説明・地球温暖化による豪雨災害リスクの増強について
若月泰孝(茨城大学理工学研究科(理学野)・茨城県地域気候変動適応センター)
2. 基調講演
田口仁(防災科学技術研究所)
平時および災害時に活躍するデジタル防災技術
3. 参加者紹介・話題提供・議論
(令和元年台風19号水害での経験を踏まえた豪雨災害対策のアップデートと課題)
4. まとめ

【重要なお知らせ】ご参加に際し、国・県・市町村等の行政機関の皆様や、研究者の皆様、地域防災に積極的に取り組んでおられる一般の方から、令和元年台風19号水害での経験を踏まえた豪雨災害対策のアップデートと課題について、ご所属団体の現状をご紹介いただくと幸いです。パワーポイントやPDFで、1～5ページ程度でお願いいたします。すでにお持ちの資料をご活用されるなど、わざわざ本会に向けたご準備に多くの時間をかけていただく必要はございません。特に市町村の皆様のご積極的なご報告をお願いいたします。また、ソフト対策の話題も歓迎いたします。

主催：茨城大学，茨城県地域気候変動適応センター，
共催：水戸地方气象台
参加申し込み・問い合わせは、以下のFormからお願いします。
(1月8日までにお申し込みいただくと幸いです)

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfXblai-UCIMXFGvr8KTpSccBwtWylz008LHW6p6f0kMG3fmQ/viewform>



☆取材の場合も事前にご連絡ください。
担当：茨城県地域気候変動適応センター ilccac@ml.ibaraki.ac.jp